

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

京都府 綾部市

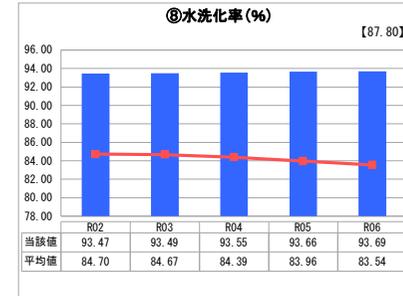
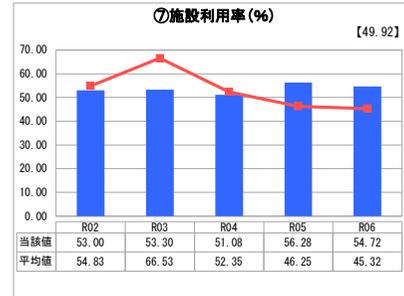
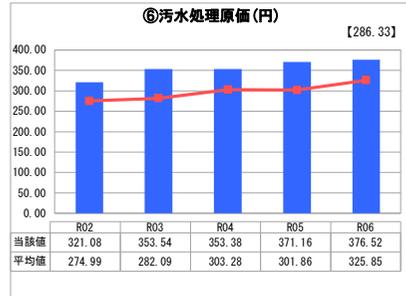
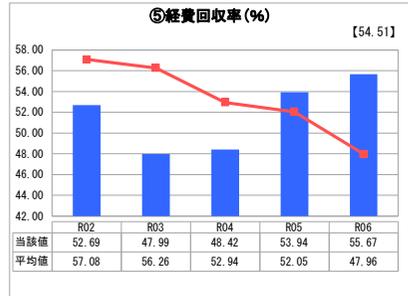
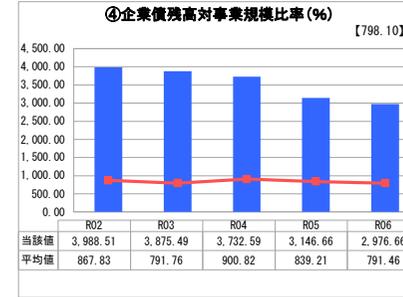
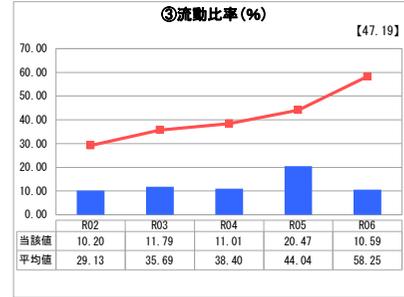
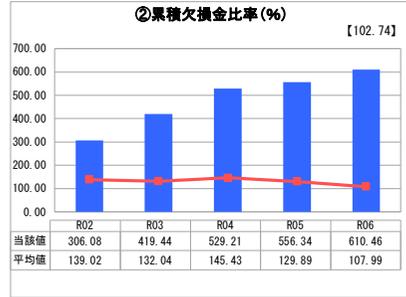
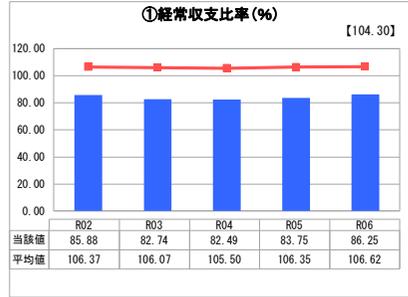
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	57.16	12.58	90.91	3,300

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
31,072	347.10	89.52
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
3,880	2.96	1,310.81

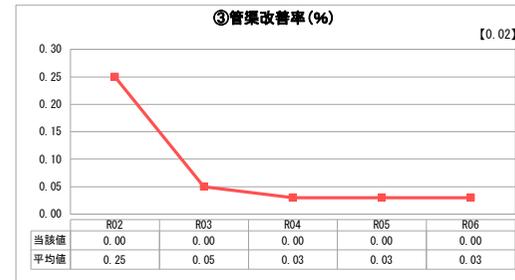
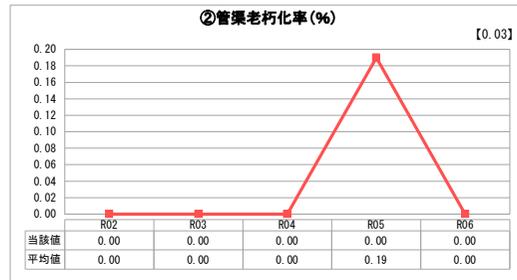
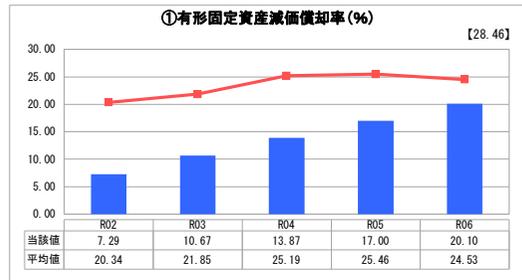
## グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率は100%を下回っており、類似団体と比較して低い水準です。収益に占める一般会計繰入金金の割合が高い状況であり、経営改善を図る必要があります。また、⑤経費回収率も100%を下回っています。令和5年4月に使用料改定を行い、全国平均は上回りましたが、引き続き収益の確保及び汚水処理費の削減に努めます。
- ② 累積欠損金比率は、類似団体と比較して高い水準です。本年度決算が赤字であったことから累積欠損金が増加しました。累積欠損金の解消に向け経営改善を図る必要があります。
- ③ 流動比率は100%を下回っており、類似団体と比較して低い水準です。企業債の償還は平準化債の発行と一般会計繰入金に依存している状況です。
- ④ 企業債残高対事業規模比率は企業債の償還が進んだことにより改善したものの、類似団体と比較すると大きく上回っており、維持管理費等も含めて適正な使用料収益の確保が必要です。
- ⑥ 汚水処理原価は、類似団体と比較して高い水準です。維持管理費の削減、接続率の向上による有収水量を増加させる取り組みが必要です。
- ⑦ 施設利用率は類似団体と比較して高い水準ですが、引き続き適切な投資・改修計画を検討する必要があります。
- ⑧ 水洗化率は、類似団体と比較して高い水準となっていますが、引き続き水洗化の普及促進に努めていく必要があります。

### 2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産減価償却率は、類似団体と比較して低い水準ですが、平成31年4月1日に法適化した影響があり、単純比較が難しい状況です。
- ② 管渠老朽化率及び③管渠改善率については、管渠は比較的新しいため、現状大規模な改修を行う必要はありません。

## 全体総括

令和5年4月に使用料改定を行い、収益の改善を図ったが、流動比率は10%程度と非常に低い水準であり、経営は、一般会計からの繰入金及び企業債借入に大きく依存しており、引き続き厳しい状態であると認識しています。

また、近年技術職の採用が少ないことから、人材確保も課題となっています。

今後、処理場設備や管渠の老朽化、物価高騰による営業費用の更なる増加、人口減少に伴う使用料収益の減少が見込まれることから、引き続き適正な使用料のあり方を定期的に検討し、安定的な使用料収益の確保を目指すとともに、汚水処理原価を減少させるために、徹底した維持管理費の削減、適切な投資・改修計画を行い、経営の安定化を図りたいと考えています。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。